

SMF to SMAF コンバータ for MA2 ユーザーズマニュアル

Ver. 1.2

2/9/2001

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。

Copyright© 2000-2001 YAMAHA Corporation

All rights reserved

目次

1 概要.....	4
2 動作環境.....	4
2.1 対応パソコン.....	4
2.2 OS (オペレーティングシステム)	4
3 起動.....	4
4 変換の手順.....	5
4.1 MIDI ファイルのドラッグ&ドロップ	5
4.2 Wav ファイルのドラッグ&ドロップ	5
4.3 Wav ファイルのサンプリング周波数変換	5
4.4 変換	6
4.5 Information の編集	6
4.6 保存	7
4.7 ファイルサイズの表示	7
4.8 リセット	7
5 変換の中止	7
6 エラーメッセージ	7
6.1 Cannot	7
6.1.1 Cannot assign a 4 operator tone.....	7
6.1.2 Cannot assign a 2 operator tone.....	7
6.1.3 Cannot find the adpcm data.	7
6.1.4 Cannot assign Drum channel.	8
6.2 MidiCh	8
6.2.1 MidiCh **: Wrong BankSelectMSB **	8
6.2.2 MidiCh **: Wrong BankSelectLSB **.....	8
6.2.3 MidiCh **: Wrong Control Number **	8
6.2.4 MidiCh **: Wrong Program Change **.....	8
6.2.5 MidiCh **: Cannot assign a Drum tone.	8
6.2.6 MidiCh **: No Channel Reserve.....	8
6.2.7 MidiCh **: No BankSelectMSB.....	8
6.2.8 MidiCh **: No BankSelectLSB.....	8
6.2.9 MidiCh **: No ProgramChange.....	8
6.2.10 MidiCh **: Wrong Data Entry **.....	8
6.2.11 MidiCh **: Wrong Operator number at a program change.....	8
6.2.12 MidiCh **: Cannot assign Normal channel.	9
6.2.13 MidiCh **: Cannot use PitchBend.....	9

6.2.14 MidiCh** : Cannot use AfterTouch.....	9
6.2.15 MidiCh** : Cannot insert the Program Change.....	9
6.2.16 MidiCh** : Channel Reserve Error	9
6.2.17 MidiCh** : ChannelReserve should be **,.....	9
6.3 aa:bb:cc.....	9
6.3.1 aa:bb:cc MidiCh** NoteNumber **: The GateTime is 0.	9
6.3.2 aa:bb:cc MidiCh**NoteNumber **: The ADPCM Note is overlapped.....	9
6.3.3 aa:bb:cc MidiCh** The GateTime is too long.	9
6.3.4 aa:bb:cc MidiCh** : The NoteNumber ** is overlapped.....	9
6.3.5 aa:bb:cc MidiCh** Cannot assign the Note.	9
6.3.6 aa:bb:cc MidiCh** The NoteNumber is Out of Area.....	9
6.3.7 aa:bb:cc ADPCM part EventOverlapError	10
6.3.8 aa:bb:cc ADPCM part NoteEventDuration Error.....	10
6.3.9 aa:bb:cc ADPCM part Wrong STOP point Position.	10
6.4 Wrong.....	10
6.4.1 Wrong START and STOP position.....	10
6.4.2 Wrong START point position.	10
6.4.3 Wrong STOP point position.	10
6.5 その他のエラー	10
6.5.1 Memory allocation error!!	10
6.5.2 Different sampling rate adpcm data.	10
6.5.3 No Note off Message.....	10
6.5.4 No Effective MIDI data.....	10
6.6 注意事項.....	11
7 バージョン情報.....	11

1 概要

この文章は SMF to SMAF コンバータ for MA2 のユーザーズマニュアルです。

SSC-MA2 は SMFFormat0 (StandardMidiFile) を

SMAF (SyntheticMusicMobileApplicationFormat) に変換するためのアプリケーションソフトウェアです。

変換された SMAF は YAMAHA LSI MA-2(YMU759)搭載機種上で演奏されます。

MA-1 (YMU757) 搭載機種用の SMAF 変換には SSC-MA1 をご使用ください。

2 動作環境

2.1 対応パソコン

IBM PC/AT 互換機

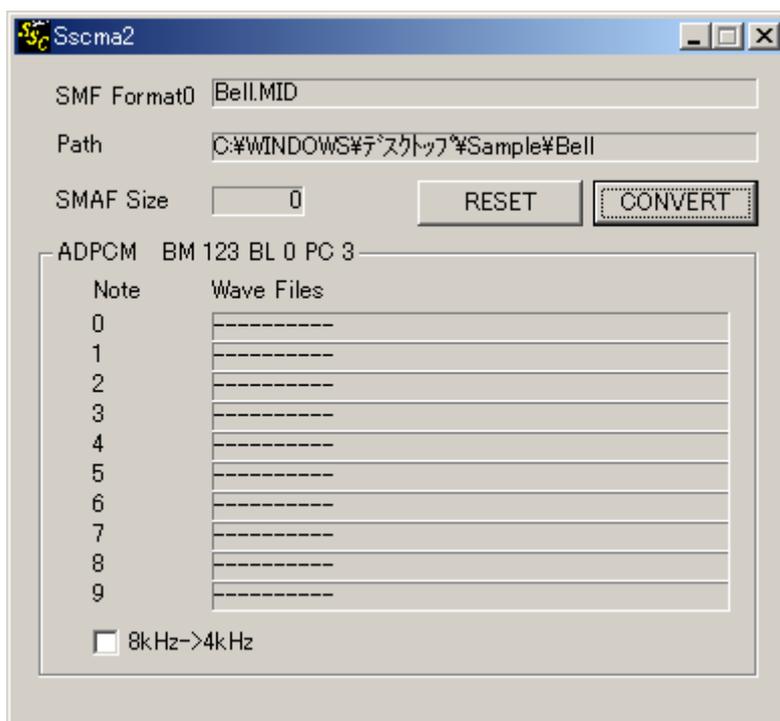
2.2 OS (オペレーティングシステム)

Microsoft Windows98,98SE,me

3 起動

Sscma2.exe をダブルクリックするか、変換したい MIDI ファイルを Sscma2.exe のアイコンにドラッグ&ドロップしてください。

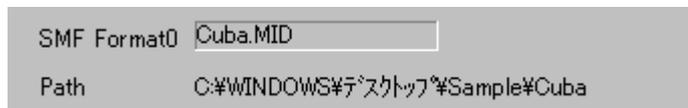
起動すると下のような画面が表示されます。



4 変換の手順

4.1 MIDI ファイルのドラッグ&ドロップ

変換したい MIDI ファイル (SMF Format0) を上図の起動画面上にドロップします。



するとドロップしたファイル名とその Path が表示されます。

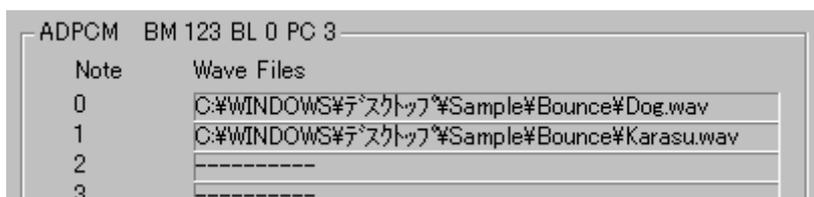
4.2 Wav ファイルのドラッグ&ドロップ

ADPCM を使った曲を制作したい場合は使用したい wav ファイルをドラッグ&ドロップします。

Wav ファイルは 16 ビット、モノラル、サンプリング周波数 8 kHz または 4 kHz で保存されたものに限ります。Wav ファイルは 10 まで登録可能です。

ドロップする順番によって、その wav ファイルを発音するために必要なノート番号が 0 から割り当てられます。

例えば、Dog.wav と Karasu.wav をドラッグ&ドロップすると下図のようになります。



Dog.wav は BankSelectMSB : 123、BankSelectLSB : 0、ProgramChange : 3 の Note : 0 に割り当てられます。

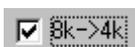
Karasu.wav は BankSelectMSB : 123、BankSelectLSB : 0、ProgramChange : 3 の Note : 1 に割り当てられます。

SMF 上で、上記のバンク、ノート番号にノートオンを指定することで発音します。ゲートタイムが発音の長さになりますので、お好みの長さで発音させてください。

4.3 Wav ファイルのサンプリング周波数変換

サンプリング周波数 4 kHz の wav ファイルを作成するツールをお持ちでない場合は 8 kHz の wav ファイルを 4 kHz に変換してから ADPCM 変換する機能があります。

この機能を使用する場合は下図のようにチェックボックスをチェックしてください。



4.4 変換

コンバートボタンをクリックしてください。



4.5 Information の編集

変換に成功すると Information ダイアログが表示されます。

各項目を選択または入力してください。

Contents Class : 0 YAMAHA (変更不可)
 Contents Type : 1 YMU759 (MA2)用 着信メロディ(変更不可)
 Contents Code Type : Shift-JIS (変更不可)

Copy Status : 0 保存可、転送可
 : 1 保存可、転送不可
 : 3 保存不可、転送不可

Vendor : ベンダー名
 Carrier : キャリア名
 Category : カテゴリー名
 Title : 曲名
 Artist : アーティスト名
 Lyricist : 作詞者
 Composer : 作曲者
 Arranger : 編曲者
 Copyright© : 著作権者

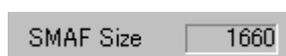
Created Date : 作成日
Updated Date : 更新日

4.6 保存

Information ダイアログの「OK」ボタンを押すと変換された SMAF ファイルがドロップした SMF と同じディレクトリ（フォルダ）に作成されます。作成されるファイルネームは元の SMF の拡張子を mmf に変更したものとなります。すでに同じファイルが存在する場合は上書きしますので、ご注意ください。

4.7 ファイルサイズの表示

変換に成功すると SMAF ファイルのサイズを表示します。単位は Byte です。



4.8 リセット

別の SMF ファイルを変換したい場合はリセットボタンをクリックしてください。現在ドロップされたファイル名、Path をクリアします。その後、変換したいファイルをドロップしてください。

5 変換の中止

変換ボタンをクリックすると、SSC-MA2 は変換を開始しますが、「着信メロディ制作ガイドライン」に沿って SMF を制作していない場合はエラーメッセージを出力して、以後の変換処理を中止します。この場合はエラーの起きた原因を取り除いてから、再度変換してください。エラーメッセージを 6 章で説明します。

6 エラーメッセージ

エラーメッセージをさがしやすいように出だしの部分にしたがって分類されています。

6.1 Cannot

6.1.1 Cannot assign a 4 operator tone.

4 オペレータ音色を割り当てることができません。4 オペレータ音色は 8 以上指定されている可能性があります。使用している音色のオペレータをチェックしてみてください。

6.1.2 Cannot assign a 2 operator tone.

2 オペレータ音色を割り当てることができません。4 オペレータ音色と 2 オペレータ音色と合わせて 3 2 オペレータ以下となるようにしてください。

6.1.3 Cannot find the adpcm data.

wav ファイルが登録されていないか、登録された wav ファイルから変換された adpcm

データのバンク、プログラムチェンジ、ノート番号と MIDI ファイルで指定されたバンク、プログラムチェンジ、ノート番号が一致していない可能性があります。

6.1.4 Cannot assign Drum channel.

Drum channel を割り当てることができません。すでに全てのチャンネルを使い切っている可能性があります。音色のオペレータ数と合わせて確認してください。

6.2 MidiCh

6.2.1 MidiCh **: Wrong BankSelectMSB **.

BankSelectMSB には 1 2 2 (0 x 7 A) または 1 2 3 (0 x 7 B) を指定してください。

6.2.2 MidiCh **: Wrong BankSelectLSB **.

BankSelectLSB には BankSelectMSB=122(0x7A) のとき 0 ~ 9 、 BankSelectMSB=123(0x7B)のとき 0 を指定してください。

6.2.3 MidiCh **: Wrong Control Number **.

指定されたコントロールチェンジのコントロールナンバーサポートしていません。

6.2.4 MidiCh **: Wrong Program Change **.

指定されたプログラムチェンジは使用できません。
ドラムチャンネルでは 0 ~ 9 を使用してください。

6.2.5 MidiCh **: Cannot assign a Drum tone.

ドラム音色数が多すぎて割り当てることができません。ドラム音色の数はドラムチャンネルのノートの種類に対応します。使用するノートの種類を確認してみてください。

6.2.6 MidiCh **: No Channel Reserve

この Midi チャンネルに Channel Reserve メッセージがありませんでした。

6.2.7 MidiCh **: No BankSelectMSB

この Midi チャンネルに BankSelectMSB がありませんでした。

6.2.8 MidiCh **: No BankSelectLSB

この Midi チャンネルに BankSelectLSB がありませんでした。

6.2.9 MidiCh **: No ProgramChange

この Midi チャンネルに No ProgramChange がありませんでした。

6.2.10 MidiCh **: Wrong Data Entry **.

DataEntry で指定できる数値の範囲は 0 ~ 24 です。

6.2.11 MidiCh **: Wrong Operator number at a program change.

プログラムチェンジ時のプログラムチェンジ前の音色のオペレータ数と、チェンジ後の音色のオペレータ数が異なっています。2 オペレータか 4 オペレータのどちらかに一致させてください。

6.2.12 MidiCh : Cannot assign Normal channel.**

ChannelReserve で指定した音数が割り当てられるチャンネル数を越えました。全体の
使用できるオペレータ数を確認して、ChannelReserve を設定しなおしてください。

6.2.13 MidiCh : Cannot use PitchBend.**

Drum チャンネルで PitchBend を使用することはできません。

6.2.14 MidiCh : Cannot use AfterTouch.**

AfterTouch (ポリフォニック・キー・プレッシャー、チャンネル・プレッシャー) は使用で
きません。

6.2.15 MidiCh : Cannot insert the Program Change.**

Drum チャンネルでは曲中のプログラムチェンジを禁止しています。
また、発音中のプログラムチェンジは禁止しています。

6.2.16 MidiCh : Channel Reserve Error**

ChannelReserve が 2 つ以上同一 Midi チャンネルに存在しています。

6.2.17 MidiCh : ChannelReserve should be **.**

Drum チャンネルでの ChannelReserve が不適当です。指示された数値に設定してくだ
さい。

6.3 aa:bb:cc.....**6.3.1 aa:bb:cc MidiCh** NoteNumber **: The GateTime is 0.**

小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置の NoteNumber** の Note の GateTime が 0 になりまし
た。1 TimeBase 値以上のゲートタイムが必要です。GateTime を増やしてください。

6.3.2 aa:bb:cc MidiChNoteNumber**: The ADPCM Note is overlapped.**

小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置の NoteNumber** の ADPCM Note が重なっています。
一方の位置を移動するか、ゲートタイムを短くするなどして、重ならないようにしてくだ
さい。

6.3.3 aa:bb:cc MidiCh The GateTime is too long.**

小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置の Note の GateTime が大きすぎます。66 秒を超える
GateTime を指定した可能性があります。GateTime を確認してみてください。

6.3.4 aa:bb:cc MidiCh : The NoteNumber ** is overlapped.**

小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置に同一の Note が重なっています。一方を削除してくださ
い。

6.3.5 aa:bb:cc MidiCh Cannot assign the Note.**

小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置の Note を MA 2 チャンネルに割り当てることができませ
ん。ChannelReserve で指定した音数をこえて同時に発音しようとした可能性があります。
そのノートを削除するか、ChannelReserve の数値を増やしてください。

6.3.6 aa:bb:cc MidiCh The NoteNumber is Out of Area.**

小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置の Note の NoteNumber を使用することはできません。
1 3 - 1 0 8 の範囲でお使いください。

6.3.7 aa:bb:cc ADPCM part EventOverlapError

ADPCM パートの小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置に同時刻のイベントがあります。StartPoint、ChannelVolume または NoteON が同時刻になっている可能性があります。このイベントを挿入する時間を 4 msec 以上空けてください。

6.3.8 aa:bb:cc ADPCM part NoteEventDuration Error.

ADPCM パートの小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置に挿入しようとした NoteOn と前の NoteOff の時間間隔が 8 msec に達していません。8 msec 以上の時間をおいて NoteOn を挿入してください。

6.3.9 aa:bb:cc ADPCM part Wrong STOP point Position.

ADPCM パートの小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置に挿入しようとした STOP point Position に他のイベントが存在する場合にこのエラーメッセージが表示されます。また、START - 最初のノートオンと最後のノートオフ - STOP の時間間隔の合計が 8msec より小さい場合にもこのエラーメッセージが表示されます。いずれの場合も STOP ポイントの位置を後ろにずらすことで解決できますし、他のイベントをずらしてもこのエラーを回避できます。

6.4 Wrong.....

6.4.1 Wrong START and STOP position.

START 位置が STOP 位置より後ろにあります。START 位置は STOP 位置より前になければいけません。

6.4.2 Wrong START point position.

START 位置の前にノートオンがあります。START 位置は最初のノートオンと同じか、それよりも前に入れてください。

6.4.3 Wrong STOP point position.

STOP 位置の後のノートオフがあります。STOP 位置は最後のノートオフより後ろに入れてください。

6.5 その他のエラー

6.5.1 Memory allocation error!!

メモリを割り当てることができません。システムのメモリを増やしてください。

6.5.2 Different sampling rate adpcm data.

登録された wav ファイルの中にサンプリング周波数の異なった wav ファイルがあります。4 kHz または 8 kHz のどちらかに統一してください。

6.5.3 No Note off Message

ノートオンに対応するノートオフが見つかりませんでした。通常このメッセージがあらわれることはありません。MIDI ファイルが壊れている可能性があります。

6.5.4 No Effective MIDI data.

有効な MIDI データがありません。ノートオンがない可能性があります。

6.6 注意事項

小節 aa : 拍 bb : Tick cc の位置を示すエラーメッセージは変拍子に対応していません。拍子を曲中で変更した場合は、この位置情報はあてにしないようにしてください。正確なエラーの場所を知るためには、最初の拍子記号 (TimeSignature) の設定を (1 : 1 : 0) の位置で行い、それ以降で拍子を変更した場合は、最初の拍子にもどしてからエラーを出力させてください。このときのエラーメッセージが示す位置は正確です。エラーを解決したら、拍子を変更して曲を完成させてください。

7 バージョン情報

バージョン情報を表示するには、システムメニューから「Sscma2 のバージョン情報 (A)」を選択します。システムメニューを表示するには、タイトルバーの左端の小さいアイコンにマウスポインタをあわせて左ボタンを押すか、タイトルバー上にマウスポインタを置いて右ボタンを押すか、Alt+Space キーを押します。

